

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月6日

千葉県長 殿



提出者

住 所 東京都新宿区西新宿3-7-1新宿パークタワー20F

氏 名 株式会社NIPPO 関東第一支店

常務執行役員 支店長 松本 勝也

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-5323-3671

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社NIPPO 関東第一支店
事業場の所在地	東京都新宿区西新宿3-7-1新宿パークタワー20F
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類:D建設業 06総合工事業 業種名:063舗装工事業
②事業の規模	100億円
③従業員数	370名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和6年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 発生した廃棄物は現場にて極力分別して、混合廃棄物としての排出量を低減する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 発生した廃棄物は現場にて極力分別して、混合廃棄物としての排出量を低減する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず・廃プラ・紙くず・金属くず・混合に分類
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 取り組みを継続していく

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(令和6年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 実績はない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) 現時点で予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(令和6年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	t
②計画	(これまでに実施した取組) 100%再生骨材・再生路盤材としている。		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 現状を維持していく。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(令和6年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 実績はない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) 現時点で予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和6年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託処理業者の調査を行い、問題のない優良業者を選定し、委託契約を締結する。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記の通りに維持していく。定期的に委託業者の処理状況を確認する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

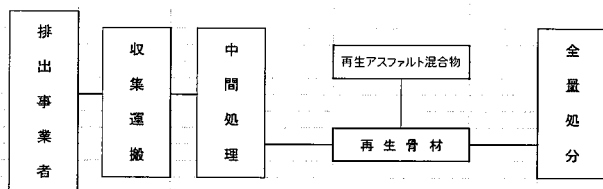
別添1 処理工程図

廃棄物の処理工程（主な場合）

（がれき類）

コンクリート塊・アスファルトコンクリート塊

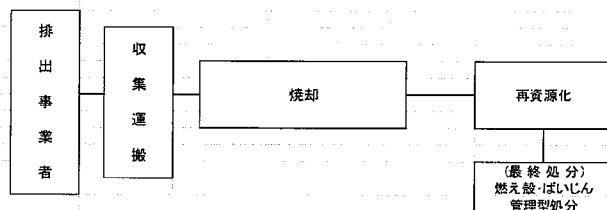
フローシート



廃棄物の処理工程（主な場合）

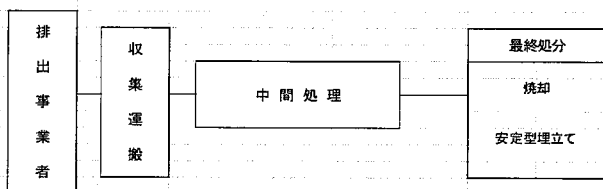
（紙くず）

フローシート



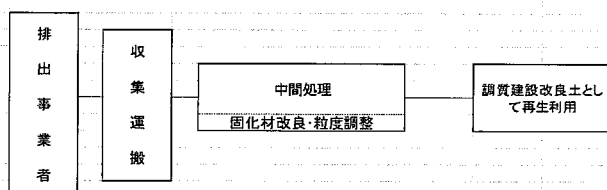
（廃プラスチック類）

フローシート



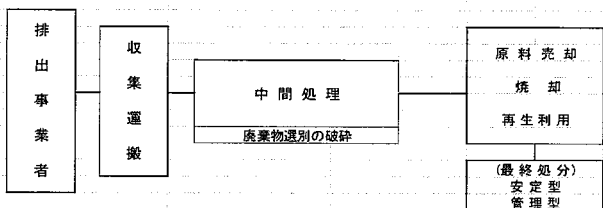
（建設汚泥）

フローシート



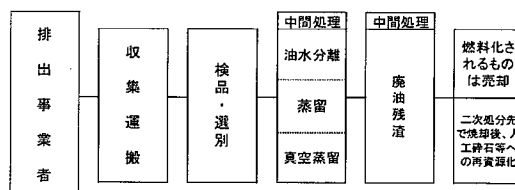
（建設混合廃棄物）

フローシート



（廃油）

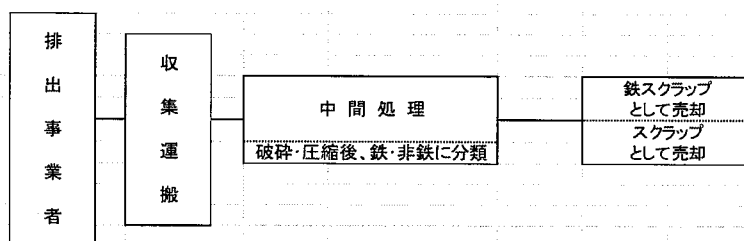
フローシート



廃棄物の処理工程（主な場合）

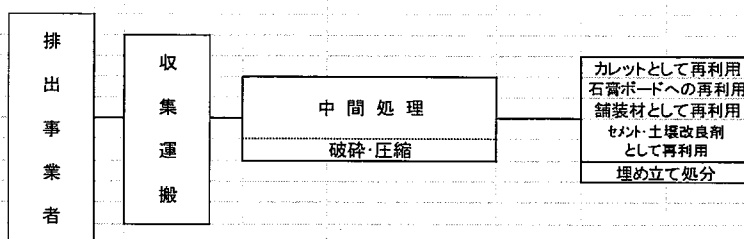
（金属くず）

フローシート



（ガラス・コンクリート・陶磁器くず）

フローシート



関東第一支店安全環境・品質保証G課長
(処理計画統括責任者)



← 関東第一支店：廃棄物担当者

さいたま出張所 : 所長 (管理責任者)
埼玉南出張所 : 所長 (管理責任者)
熊谷出張所 : 所長 (管理責任者)
東京西出張所 : 所長 (管理責任者)
東京東出張所 : 所長 (管理責任者)
首都高出張所 : 所長 (管理責任者)
多摩出張所 : 所長 (管理責任者)
東大和出張所 : 所長 (管理責任者)
横浜出張所 : 所長 (管理責任者)
厚木出張所 : 所長 (管理責任者)
横須賀出張所 : 所長 (管理責任者)
川崎出張所 : 所長 (管理責任者)
山梨出張所 : 所長 (管理責任者)
北部復旧出張所 : 所長 (管理責任者)
西部復旧出張所 : 所長 (管理責任者)
神奈川復旧出張所 : 所長 (管理責任者)
千葉復旧出張所 : 所長 (管理責任者)
城東復旧出張所 : 所長 (管理責任者)



← 各事業所 : 総務担当者

各事業所 : 工事担当者



関係会社

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
①現状	【前年度(令和6年度)実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	
	排 出 量	18.32 t	38.91 t	4,642.29 t	9.00 t	
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	
	排 出 量	16.49 t	35.02 t	4,178.06 t	8.10 t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項						
①現状	【前年度(令和6年度)実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項						
①現状	【前年度(令和6年度)実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
①現状	【前年度(令和6年度)実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	【前年度(令和6年度)実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	
	全処理委託量	18.32 t	38.91 t	4,642.29 t	9.00 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	
	全処理委託量	16.49 t	35.02 t	4,178.06 t	8.10 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月6日

千葉市長 殿



提出者

住 所 東京都新宿区西新宿3-7-1新宿パークタワー20F

氏 名 株式会社NIPPO 関東第一支店

常務執行役員支店長 松本 勝也

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-5323-3671

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

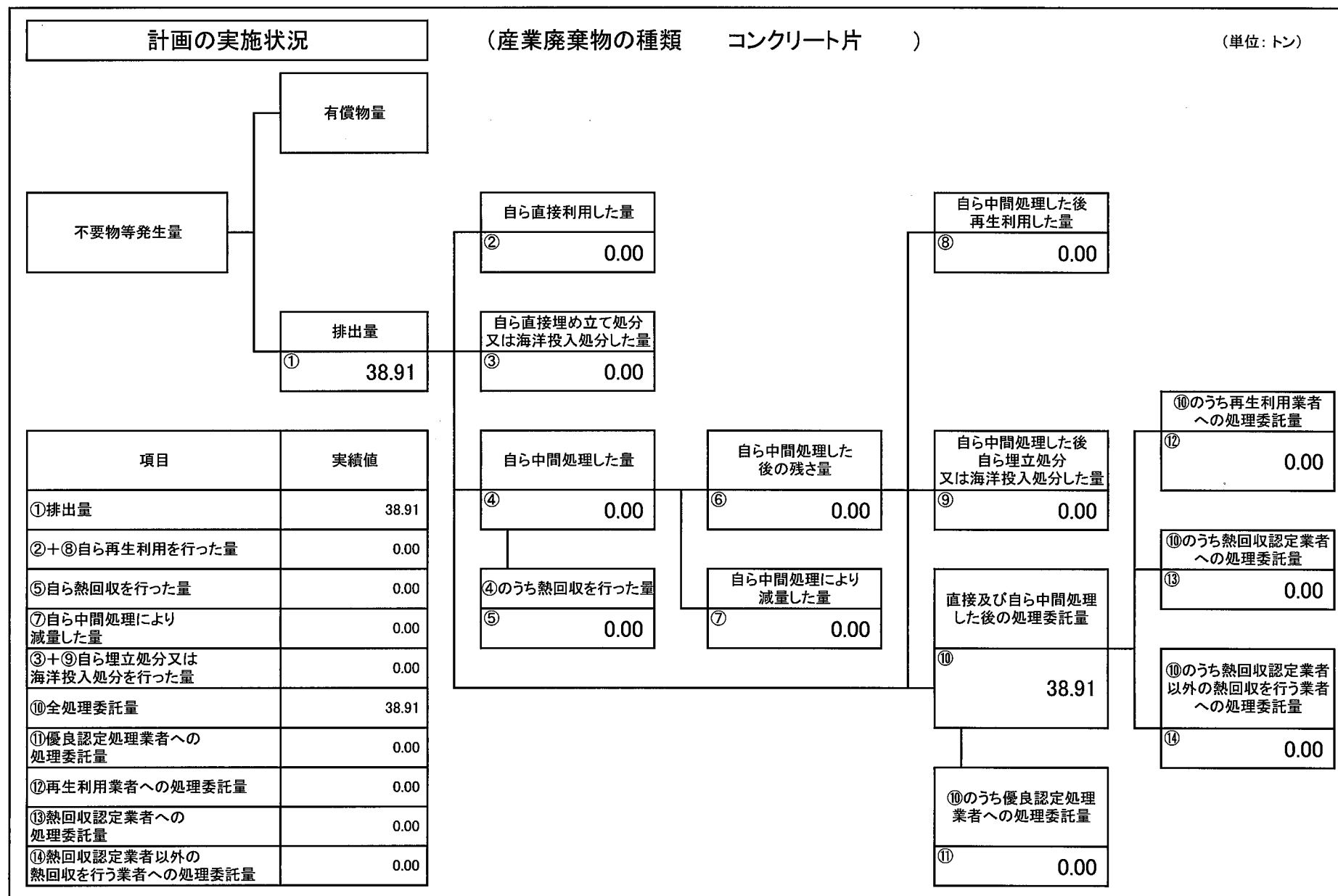
事業場の名称	株式会社NIPPO 関東第一支店		
事業場の所在地	東京都新宿区西新宿3-7-1新宿パークタワー20F		
事業の種類	大分類:D建設業 06総合工事業 業種名:063舗装工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	4,200.96 t	全処理委託量	4,200.96 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	再生利用業者への処理委託量	0.00 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
※事務処理欄			

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 汚泥)		(単位: トン)	
不要物等発生量		有償物量			
排出量		① 18.32			
		② 0.00		⑧ 0.00	
		③ 0.00			
		④ 0.00		⑥ 0.00	
		⑤ 0.00		⑦ 0.00	
				⑨ 0.00	
				⑩ 18.32	
				⑪ 0.00	
				⑫ 0.00	
				⑬ 0.00	
				⑭ 0.00	

項目	実績値
①排出量	18.32
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	18.32
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)



(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 アス・コン片)				(単位: トン)	
不要物等発生量		有償物量					
排出量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量			
① 4,642.29		② 0.00		⑧ 0.00			
		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量					
		③ 0.00					
項目		実績値		自ら中間処理した量		自ら中間処理した 後の残さ量	
①排出量		4,642.29		④ 0.00		⑥ 0.00	
②+⑧自ら再生利用を行った量		0.00					
⑤自ら熱回収を行った量		0.00		④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により 減量した量	
⑦自ら中間処理により 減量した量		0.00		⑤ 0.00		⑦ 0.00	
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量		0.00					
⑩全処理委託量		4,642.29				自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	
⑪優良認定処理業者への 処理委託量		0.00				⑨ 0.00	
⑫再生利用業者への処理委託量		0.00				⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への 処理委託量		0.00				⑫ 0.00	
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量		0.00				⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
						⑬ 0.00	
						直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	
						⑩ 4,642.29	
						⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量	
						⑪ 0.00	

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 その他がれき類)				(単位: トン)					
不要物等発生量	有償物量	② 自ら直接利用した量	③ 自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量	④ 自ら中間処理した量	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑥ 自ら中間処理した 後の残さ量	⑦ ⑥のうち熱回収により 減量した量	⑧ 自ら中間処理した後 再生利用した量	⑨ ⑧のうち再生利用業者 への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	⑪ ⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量
	排出量 ① 9.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
項目		実績値									
①排出量		9.00									
②+⑧自ら再生利用を行った量		0.00									
⑤自ら熱回収を行った量		0.00									
⑦自ら中間処理により 減量した量		0.00									
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量		0.00									
⑩全処理委託量		9.00									
⑪優良認定処理業者への 処理委託量		0.00									
⑫再生利用業者への処理委託量		0.00									
⑬熱回収認定業者への 処理委託量		0.00									
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量		0.00									

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。